

2026 年度 東京大学 前期 地理探究

第1問

設問A

- (1) マグマの供給源から離れ、沈降や侵食によって標高が低くなる。(30字)
- (2) 島の沈降に対しサンゴ礁は海水面付近まで成長するため標高を維持するが、X点以北は海水温が低く造礁サンゴが生育しないため。(60字)
- (3) 大陸の縁では大河川が砂泥を運搬するため混入が多いが、日本列島の付加体となったサンゴは大河川のない海洋島由来であるため。(60字)

設問B

- (1) 温暖な海域の浅瀬に位置し多様な生態系が形成されやすく、植物の活発な光合成に加えて魚貝類の体内にも炭素が固定されるから。(60字)
- (2) 高度経済成長期にアマモ場の埋立てが進んだことや、工場や住宅からの排水増加により富栄養化が進み、生育環境が悪化したから。(60字)
- (3) 7倍

設問C

- (1) 夏季に多雨となる東アジアは、内陸からのプラスチック流出の増加と太平洋高気圧の発達で偏西風が弱まり南東季節風により西部に集中する。逆に冬季は北西季節風と偏西風により東部に拡散する。(90 字)
- (2) 洗濯によって合成繊維が摩耗し、小さな粒子が排水に混入する。(30 字)
- (3) 綿や麻などの天然繊維の利用が多く、自然界で分解されていた。(30 字)

第2問

設問 A

- (1)自由貿易協定締結以降、ASEAN と中国の水平分業が進展し、中国の中間財を利用した製品の米国などへの輸出が進んだ。(57 字)
- (2)円高時に中国・ASEAN に移転した日本企業の生産拠点との間にサプライチェーンが発達し日本からの中間財輸入が減少した。(60 字)
- (3)RCEP によって鉱物資源 の確保と投資・技術連携が期待できる反面、農産物の流入で自国の農業生産が脅かされる懸念がある。(58 字)

設問 B

- (1) ②—テンチン(天津)、④—チョンチン(重慶)
- (2)農村から都市への人口移動を背景に、大都市中心部に人口が集中して住宅が不足し、家賃が高騰、交通混雑も深刻になっている。(59 字)
- (3)西部大開発の拠点として港湾が建設され運輸交通が整備された。(30 字)
- (4)伝統的なコメ産地である長江以南で生産量が頭打ちとなる 一方、東北では耐寒性ジャポニカ米の導入と大規模化が進み、労働力減少にかかわらず、黒土と地下水を利用した灌漑水田が拡大した。(88 字)

第3問

設問A

(1)パルプ

(2)山林地が急峻な日本に比べ、人件費の安い東南アジアや、平坦地での大規模伐採などが可能な北欧・北米は生産コストが安いから。(60字)

(3)1960年代以前は主に家庭などで薪炭材として使用されたが、近年は木質バイオマス発電施設などで燃料として使用されている。(58字)

(4)公共施設等の建築に国産材利用を推進し、放置林で適切な間伐や伐採を行って整備を進めることで木材供給と価格の安定化を図る。(60字)

設問B

(1)気象観測技術や防災意識が向上した一方で、都市域の拡大により浸水リスクのある土地での宅地や商工業地の造成が進んだから。(59字)

(2)雨水を一時的に貯留し浸透させるために山地の樹林を利用する。(30字)

(3)氾濫原の水田は遊水地として洪水時に一時的に水を貯留し水害を軽減できるが、増水時の作物被害への経済的な補償が必要である。(60字)

(4)外国人や自分の身を自分で守ることができない高齢者や乳幼児がいる世帯の分布を示すことで、地域住民が避難指示の情報伝達や避難誘導を効率よくでき、公的支援も迅速に受けることができる。(89字)